

チームの応援を通じた生活満足度 幸福感の概要とモデル推定結果

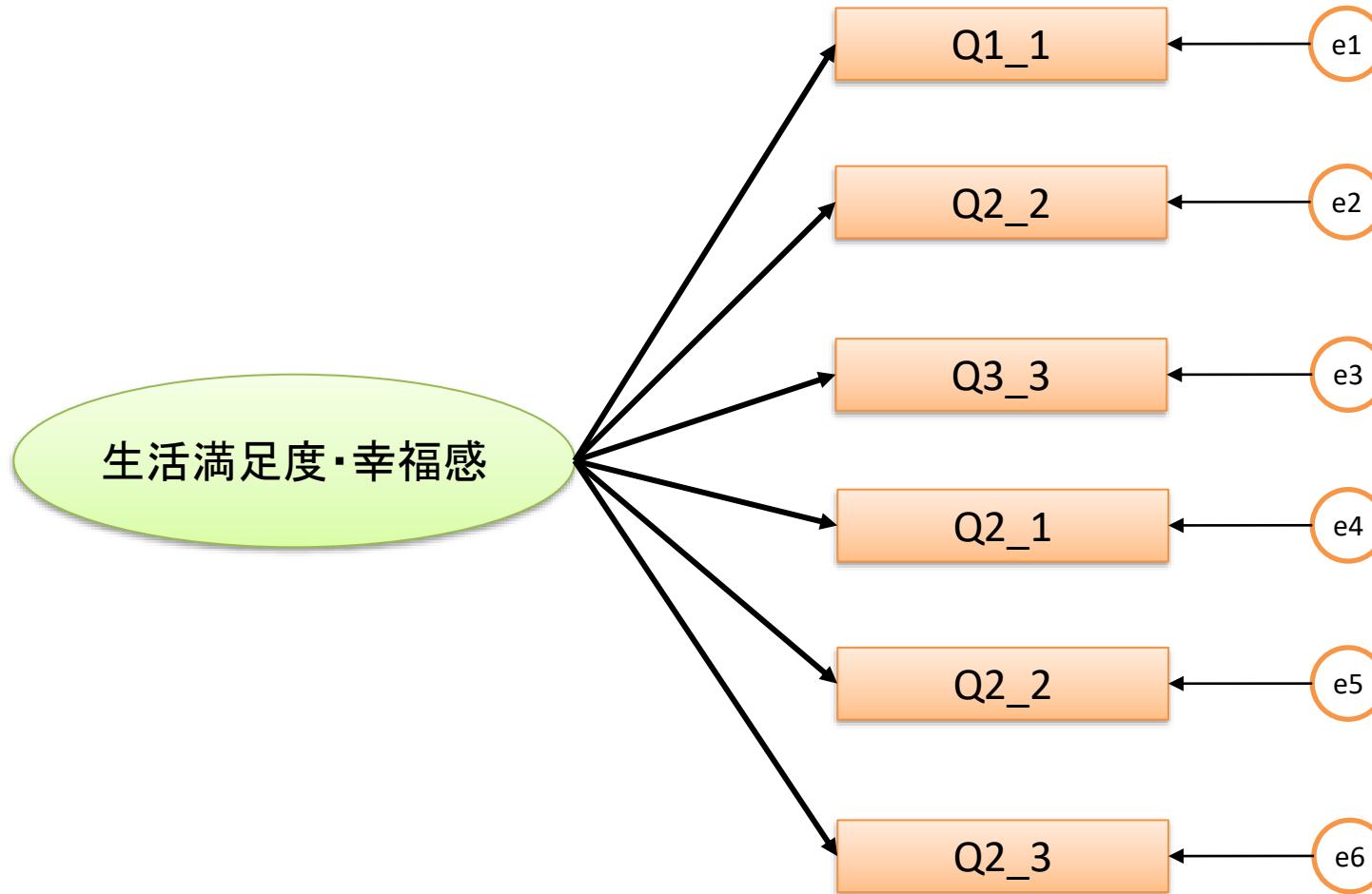
慶應義塾大学 理工学部管理工学科
鈴木秀男

生活満足度および幸福感

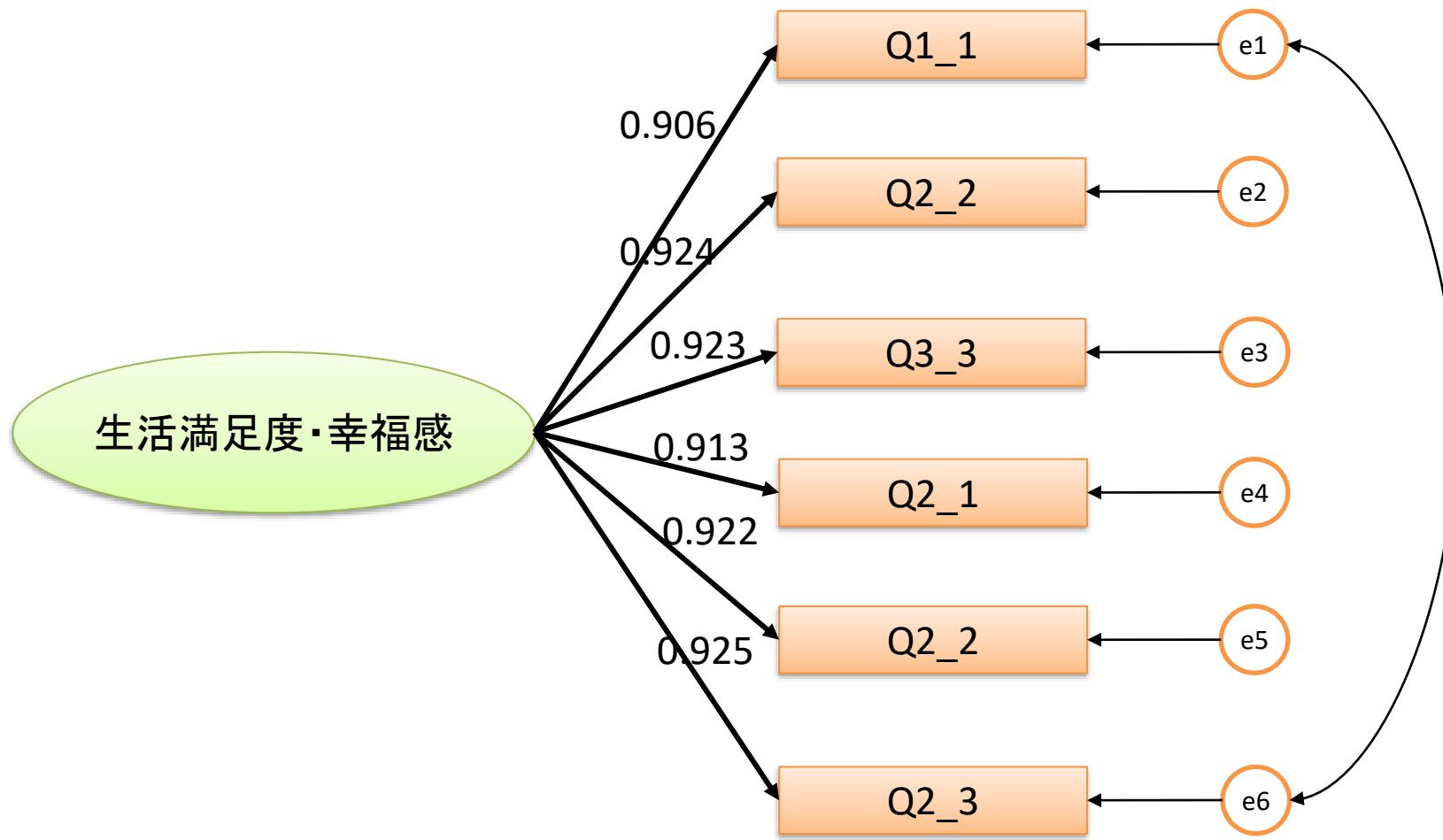
□ チームの応援を通じて、生活満足度および幸福感の度合いがどのくらいかを調査

生活満足度	Q1_1: 現在、そのチームを応援することで、自分の生活に満足している。
	Q1_2: そのチームを応援することで、自分の生活は他人と比べて充実しているほうであると感じる。
	Q1_3: そのチームを応援することで、自分の生活は今よりも充実していく。
幸福感	Q2_1: 現在、そのチームを応援することで、自分は幸福であると感じる。
	Q2_2: そのチームを応援することで、自分は他人と比べて幸せなほうであると感じる。
	Q2_3: そのチームを応援することで、自分は今よりも幸せになっていく。

オリジナル仮説モデル

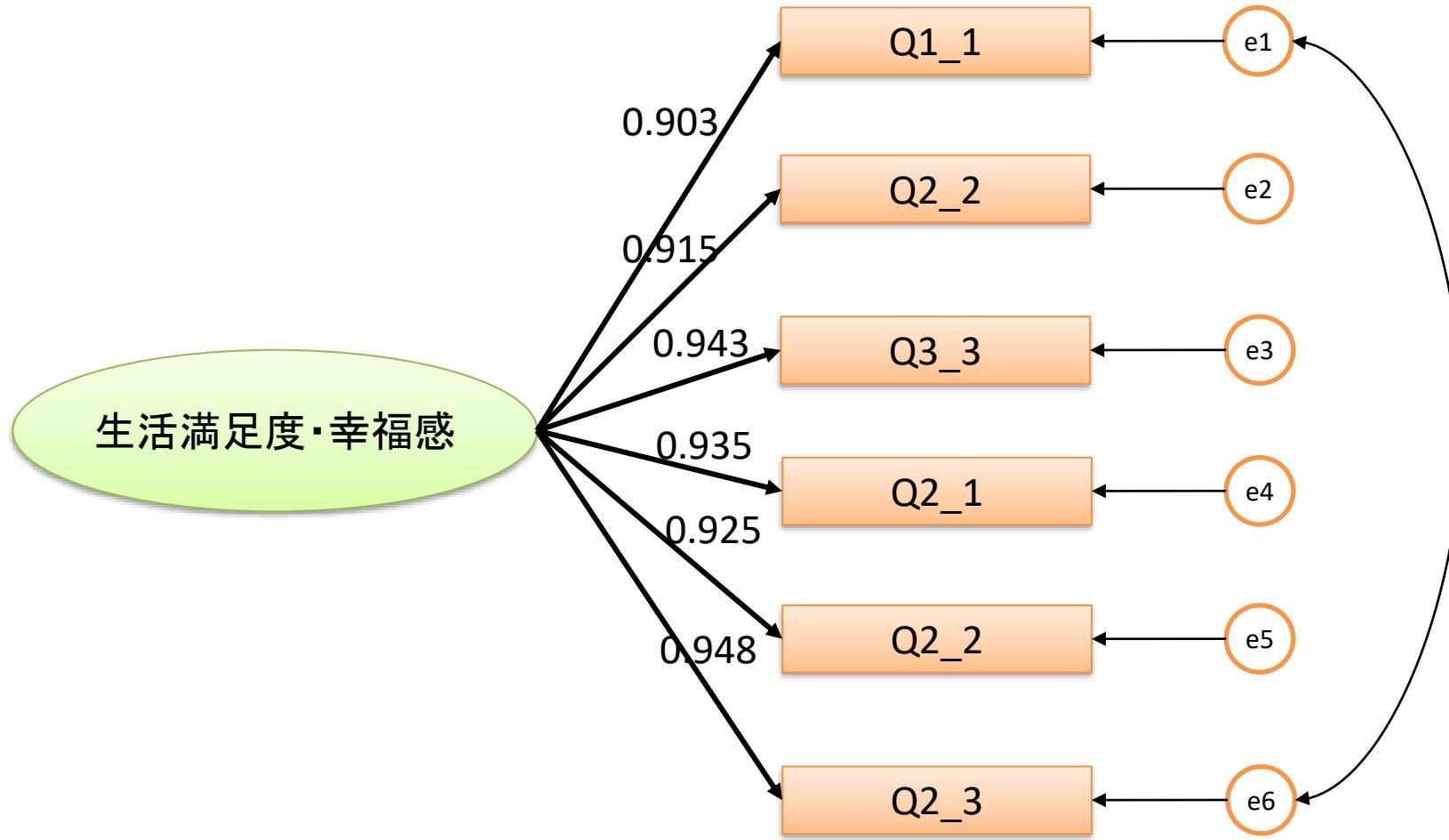


2021年1月下旬調査： モデル推定結果



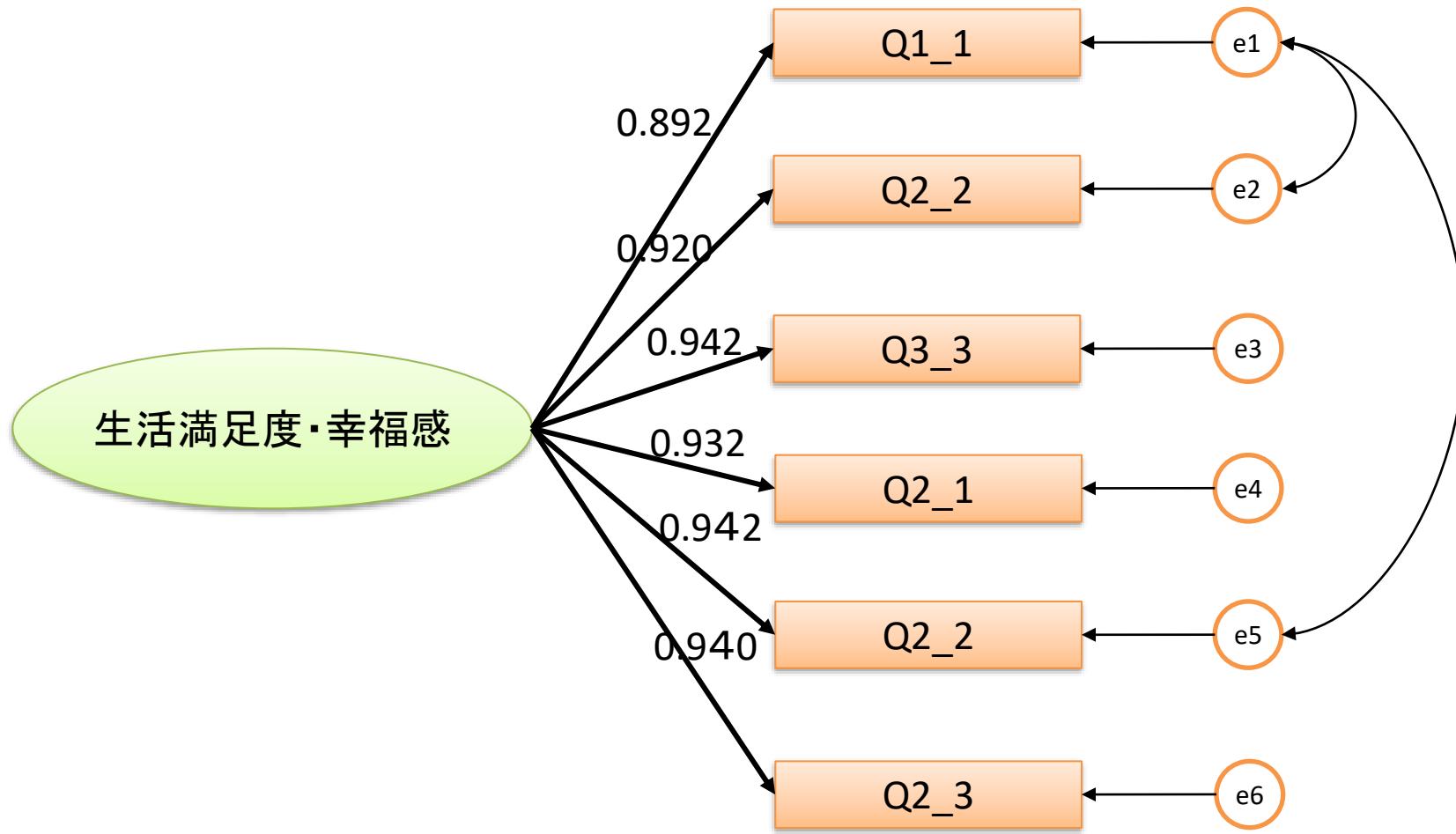
GFI = 0.984, AGFI = 0.958, CFI = 0.994
RMR = 0.028, RMSEA = 0.075

2020年1月下旬調査： モデル推定結果



GFI = 0.985, AGFI = 0.960, CFI = 0.995
RMR = 0.026, RMSEA = 0.072

参考 2019年1月下旬調査：モデル推定



GFI = 0.986, AGFI = 0.958, CFI = 0.996

RMR = 0.019 RMSEA = 0.073